

# ピックアップ

～熊野町議会臨時会（4月）～

令和2年度一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出とも24億7616万8千円の増額

総額118億3224万9千円に

《新型コロナウイルス感染症対策事業》

○特別定額給付金給付事業

・国の緊急経済対策として、全ての国民に一律10万円支給  
(24億1306万1千円)

○子育て世帯への臨時特別給付事業

・国の緊急経済対策として、児童手当受給世帯に子供1人当たり  
1万円を加算支給 (3220万7千円)

○感染症拡大防止緊急対策事業（医療施設等従事者生活支援補助金）  
・町内の医療・介護・障害福祉・保育施設等で働く人に1人当たり  
3万円を支給 (3090万円)

主な質疑

Q 医療施設等従事者生活支援補助金について、熊野町に納税している町外の医療施設等従事者に支給されないのは不公平ではないか。

A 町内の医療・介護施設等で新型コロナウイルスのクラスター（集団感染）を発生させないことを目的としているため、町内事業者を支給対象とした。

討論

反対：荒瀬穂積議員

町内におけるクラスター抑制は、感染者を特定の場所に集め、仕分けて舟入病院や県病院に送致することが必要。町の考える医療施設等従事者生活支援補助金3千万円では、新型コロナウイルス感染クラスターを抑えることはできない。よって補正予算には反対。

◎4月臨時会の一般会計補正予算（第1号）における新型コロナウイルス感染症対策事業および5月臨時会の（仮称）東部地域防災センター新築工事請負契約の締結について、それぞれ反対の討論があったため、採決にあたり各議員の賛否を明らかにしました。（○…賛成 ×…反対）

議案	賛成	反対	1 水原耕一	2 福田内邦治	3 光本一也	4 中島数宜	5 尺田耕平	6 竹爪憲吾	7 諏訪本光	8 沖田ゆかり	9 片川学	10 時光良造	11 民法正則	12 荒瀬穂積	13 山吹富邦	14 山野千佳子	15 中原裕侑	16 大瀬戸宏樹
補正予算(P4)	14人	1人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
防災センター(P5)	14人	1人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

# 議会審議を

～熊野町議会臨時会（5月）～

（仮称）東部地域防災センター新築工事請負契約を可決

東部地域における災害時の避難所となる施設の新築工事の契約締結。平時は、防災・減災に関する訓練や研修の実施及び集会機能を備えた地域コミュニティ活動の拠点となる。  
○請負金額 4億9500万円

主な質疑

Q 防災センターの災害時の収容可能人数は何人を想定しているか。

A 災害発生後3日程度までは、約500人。発生後3日目以降は、約160人を見込んでいます。

討論

反対：荒瀬穂積議員

センターは、コロナ対策を含め、災害の総合的対策を見据えた、日本でナンバーワンの施設を望む。事業は見直すべき。

熊野町立小中学校トイレ改修工事請負契約を可決

次の小中学校におけるトイレの内装改修、トイレの洋式化及び内装等改修を行う工事の契約締結。  
(1)熊野第三小学校・熊野第四小学校 ○請負金額 1億3200万円  
(2)熊野中学校・熊野東中学校 ○請負金額 6875万円

主な質疑

Q 工期が夏休み期間を含む10月末までとなっているが、夏休み期間中の登校スケジュールを伺う。

A これから学校長と協議し、夏休み期間の登校スケジュールを決定する。

Q 児童生徒への騒音対策は取るのか。

A 児童生徒が登校しない土・日曜日を使った工事や低騒音型の機械を使用するなど騒音対策を図る。

## 【追加情報】

「熊野町立小中学校トイレ改修工事請負契約（熊野第一小学校・熊野第二小学校）」は、6月定例会において可決されました。（請負金額 1億4630万円）  
これで、町内の全小中学校のトイレ改修工事請負契約が締結されました。



▲ 改修前

▲ 改修後イメージ